

円滑な小中接続を目指した小学校外国語科における教育実践

1 はじめに

中学校への進学は、生徒にとって大きな転換期であり、学習内容の難易度の上昇や人間関係の変化、思春期特有の心の変化など、様々な課題に直面する。特に、これらの課題が複合的に作用することで、学校生活に適応できず、心身に大きな負担がかかる状態は「中1ギャップ」と呼ばれ、大きな社会問題となっている。

本研究では、兵庫県が推進する『兵庫型学習システム』の一環として、中学校の教員が小学校に出向き、教科担任制による外国語科の授業を行うことで、中学校生活へのスムーズな移行を支援することを目的とする。教育実践を通して、小学6年生が抱えている中学校生活への不安を軽減し、円滑な小中接続を目指すことで、児童が小中のギャップを感じることなく中学校に入学できることを目指し、本研究を推進した。

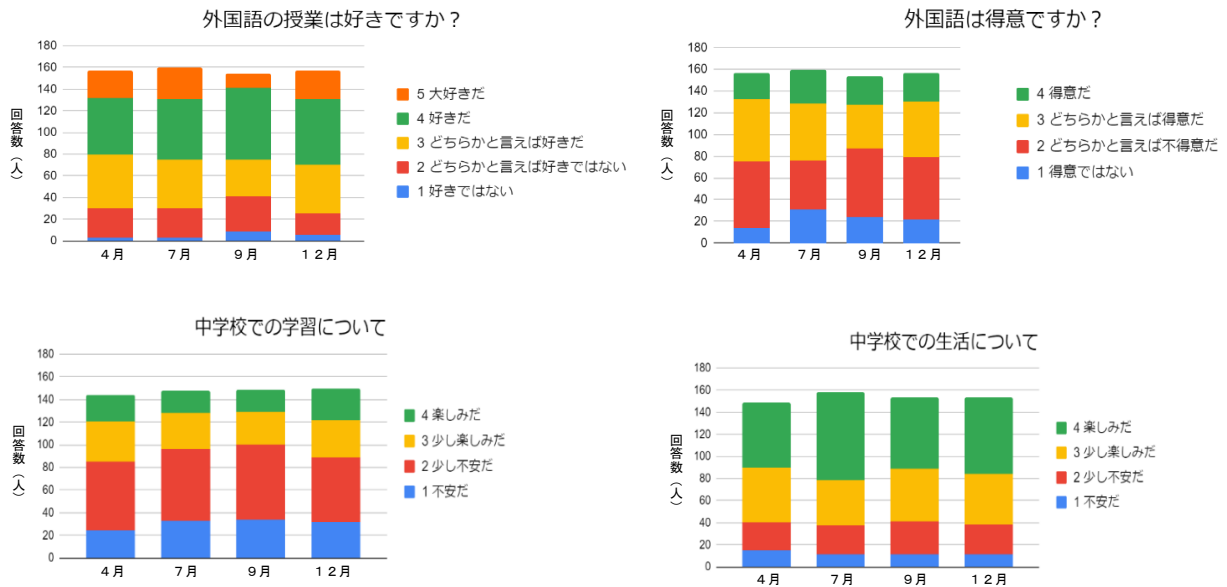
2 研究の経過

4月	・授業オリエンテーション ・第1回アンケート実施
5月	・Unit1 パフォーマンステスト実施 (Google スライドを用いた「自己紹介スライド」の作成と発表)
7月	・第2回アンケート実施
9月	・第3回アンケート実施 ・Unit3 パフォーマンステスト実施 (Google ドキュメントを用いた「夏休みの思い出写真日記」の作成)
10月	・Unit4 パフォーマンステスト実施 (Google スライドを用いた「国紹介スライド」の作成と発表)
11月	・Unit5 パフォーマンステスト実施 (Google スライドを用いた「オリジナルメニュー」の作成)
12月	・Unit6 パフォーマンステスト実施 (Google スライドを用いた「生き物を守るポスター」の作成と発表) ・第4回アンケート実施
2月	・第5回アンケート実施

3 研究の内容

- (1) 外国語の授業に関するアンケートの実施

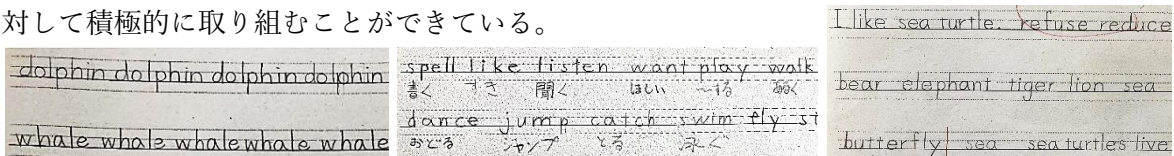
小学6年生の児童を対象に、「外国語の授業に関するアンケート」を各学期に2回行った。アンケート内容は、以下の通りである。



(2) 「書くこと」について

本校では、全学年において1Pノート（単語練習ノート）を導入し、教科書の新出単語や英文を練習するなど、今の自分に必要な英語表現を反復練習する環境を整えている。この取り組みを参考に、小学校においても「練習プリント」という活動を導入した。授業開始後4～5分間、自作の4線ワークシートを用いて、ピクチャーディクショナリーの単語や教科書の例文を書き写す時間を設けている。

これまで中学校に入学してきた生徒の中には、「書くこと」に抵抗を示す生徒も少なくなかったが、小学校外国語科の授業において継続的に「書くこと」をすることで、「書くこと」に対して積極的に取り組むことができている。


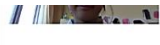



(3) タブレットを用いた学習活動について

本校は、2024年度リーディングDXスクール指定校となり、授業内でのタブレットの活用が推進されている。小学校から中学校へのスムーズな移行を支援するため、タブレットを活用した学習を取り入れ、小中間の学習内容のギャップを埋める取り組みを進めた。

(a) Unit 1 パフォーマンステスト

単元名	Unit1 「This is me!」
主な表現	What ~ do you like? / I like ~. / What is your treasure? / My treasure is ~. / I'm good at ~.
目的・場面・状況	龍野東中学校から来た外国語の先生に英語で自己紹介をしよう!
テスト形式	ライティング(Google スライド)、スピーキング

 I like P.E. My treasure is my pencil case. It's from my mother. I'm good at playing skateboarding.	 I like swimming. I'm good at fishing. My treasure is my book. It's from my grandmother.	 I like swimming. I like yellow. My treasure is pencil case. I can play the recorder.
---	--	---

(b) Unit 3 パフォーマンステスト

単元名	Unit3 「My weekend」
主な表現	How was your weekend? / It was ~. / I went to ~. / I ate ~. / I enjoyed ~.
目的・場面・状況	夏休みの思い出日記を作ろう！
テスト形式	ライティング(Google ドキュメント)



I went to Hokkaido.
I saw Lake Kussharo.
I ate soft cream.
It was beautiful.



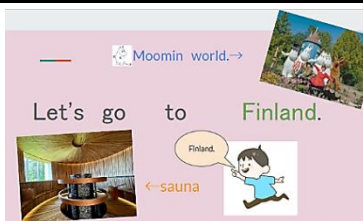
I went to Koshien with my family.
We enjoyed a baseball game.
It was tired.
I played baseball with my family.
It was good



I went to the movie theater with my brother.
We enjoyed seeing a movie.
I ate popcorn.
It was great.

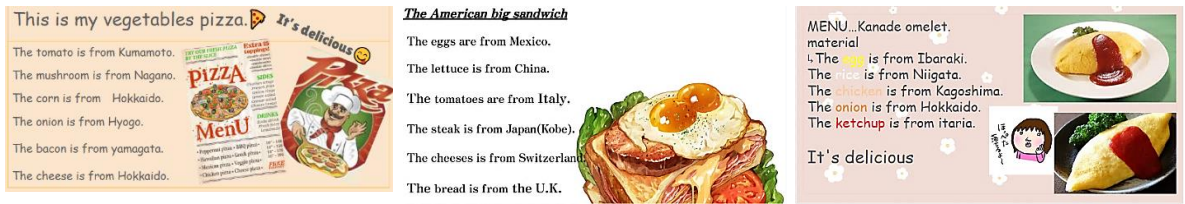
(c) Unit 4 パフォーマンステスト

単元名	Unit4 「Let's see the world.」
主な表現	Let's go to ~. / You can see ~. / You can eat ~. / You can visit~. / It's ~.
目的・場面・状況	旅行会社になって、国の魅力を伝えよう！
テスト形式	プレゼンテーション(Google スライド)



(d) Unit 5 パフォーマンステスト

単元名	Unit5 「Where is it from?」
主な表現	This is my~. / It's from ~.
目的・場面・状況	オリジナルメニューを考えて、食材の産地の紹介文を書こう！
テスト形式	ライティング(Google スライド)



(e) Unit 6 パフォーマンステスト

単元名	Unit6 「Save the animals.」
主な表現	Let's save the ~. / ~ live in ~. / ~ is a big problem. / We can ~.
目的・場面・状況	危機にさらされている動物たちを救うために、自分にできることを考え、ポスターを作成しよう！
テスト形式	ライティング(Google スライド)、プレゼンテーション



(f) 魔法の読み書きアプリ

このアプリは、ゲームを通して英語の単語や音を学習できるコンテンツである。アプリの URL をクラスルームに投稿し、家庭学習や授業の空き時間に、個人のペースに合わせて取り組むことができるようにしている。



4 研究のまとめ

本研究では、外国語科の授業を通して、小中接続の課題解決を目指した。タブレットを活用した学習や書くことの指導など、様々な取り組みを行った結果、児童の学習意欲を高め、表現力を向上させることができた。また、パフォーマンステストにおいては、当初は緊張していた児童も、回数を重ねるごとに自信を持って発表できるようになった。これらの結果から、本研究で実施した取り組みが、児童の英語学習に対する肯定的な態度を育み、中学校へのスムーズな移行を促進する可能性が示唆された。

しかし、個々の児童の特性に応じた指導や、他の教科との連携など、今後の課題も残されている。今後は、これらの課題を解決し、より効果的な指導方法を模索していく必要がある。